

■ シンポジウムキャッチフレーズ一覧

■ 特別シンポジウム、一般シンポジウム ■

S01	<p>薬学生・薬剤師に実践的なEBM教育を進めていこう！</p> <p>大学から育てよう！根拠に基づく医療教育！</p> <p>清水 忠(兵庫医療大薬)、安原 智久(摂南大薬)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:00 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S02	<p>神経・精神疾患における予防・治療標的探索研究の新展開</p> <p>神経・精神疾患の克服を目指した最先端研究</p> <p>久米 利明(京大院薬)、永井 拓(名大院医医療薬学・病院薬)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:00 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S03	<p>公正な研究活動を推進するには</p> <p>マジメに楽しくやっこその研究！</p> <p>田中 智之(岡山大院医歯薬)、小出 隆規(早稲田大先進理工)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:30 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S04	<p>生活環境中に存在する微量の発がん化学物質のリスク評価と管理</p> <p>生活中的発がん物質とどう向き合うべきか？</p> <p>本間 正充(国立衛研)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:00 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S05	<p>分子の柔らかさを創薬研究に生かす 理論・計測・創製の協奏</p> <p>柔らかな分子の機能と薬学研究</p> <p>尾谷 優子(東大院薬)、花岡 健二郎(東大院薬)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:15 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S06	<p>ポストGPCRシグナル創薬全盛期世代の研究戦略</p> <p>“シグナル”から展開する次世代型の薬開発</p> <p>井上 飛鳥(東北大薬)、土居 雅夫(京大院薬)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:00 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S07	<p>薬物治療における医薬品安全性の推進に向けて薬学が果たす役割</p> <p>今こそ「安全な薬物治療」、薬剤師の絆で！</p> <p>佐藤 光利(明治薬大)</p> <p>3月25日(土) 9:00～11:00 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S08	<p>チーム医療における外国人患者の円滑な受入れに向けて</p> <p>外国人患者にもやさしいチーム医療づくり</p> <p>吉山 友二(北里大薬)、尾鳥 勝也(北里大メディカルセ)</p> <p>3月25日(土) 13:15～15:15 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S09	<p>若手研究者が取り組む脳科学研究の最新技術と創薬応用</p> <p>若手研究者が拓く脳科学研究の最前線</p> <p>笠井 淳司(阪大院薬)、佐々木 拓哉(東大院薬)</p> <p>3月25日(土) 13:15～15:15 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>

S10	<p>課題解決型高度医療人材養成プログラム—地域チーム医療を担う薬剤師の養成—</p> <p>大学・病院・薬局による地域連携実務実習</p> <p>平田 収正(阪大院薬)、西野 隆雄(阪大院薬)</p> <p>3月25日(土) 13:15 ~ 15:15 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S11	<p>日本発顧みられない熱帯病創薬におけるパートナーシップの最前線</p> <p>産官学連携が熱帯病薬開発の常識を変える</p> <p>山田 陽城(東京薬大薬)、北 潔(長崎大院熱帯医学・グローバルヘルス)</p> <p>3月25日(土) 13:15 ~ 15:15 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S12	<p>脂質結合タンパク質の構造生物学—最近の展開—</p> <p>やっかいな物質・脂質は薬にできるか?</p> <p>村田 道雄(阪大院理)、前仲 勝実(北大院薬)、藤本 ゆかり(慶應大理工)</p> <p>3月25日(土) 13:15 ~ 15:15 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S13	<p>次世代のアカデミア創薬を担う若手の力</p> <p>大学の力を結集し、次世代の薬を創り出す!</p> <p>安田 大輔(慶應大薬)、松丸 尊紀(北大院薬)</p> <p>3月25日(土) 13:15 ~ 15:15 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S14	<p>天然物化学の新潮流—生合成リデザイン</p> <p>有用な分子とは何か—その機能と創られ方</p> <p>渡辺 賢二(静岡県大薬)、岡田 正弘(東大院薬)</p> <p>3月25日(土) 13:15 ~ 15:15 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S15	<p>神経系非臨床試験のヒト予測性向上への挑戦—人工知能(AI)及びヒト神経細胞マテリアルの可能性</p> <p>創薬におけるAIとヒト神経細胞の可能性</p> <p>佐藤 薫(国立衛研/iNCENS)、池谷 裕二(東大院薬/iNCENS)</p> <p>3月25日(土) 15:30 ~ 17:30 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S16	<p>スイゼンジノリ由来多糖体サクランの魅力</p> <p>サクランは常識を覆す次世代マテリアル</p> <p>有馬 英俊(熊本大院薬)、金子 達雄(北陸先端大院)</p> <p>3月25日(土) 15:30 ~ 17:30 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S17	<p>病院薬剤師が実践するリバーストランスレーショナルリサーチの最前線</p> <p>医療の最前線にいる薬剤師が開く新しい扉</p> <p>増田 智先(九大病院薬)、伊東 弘樹(大分大病院薬)、池田 龍二(鹿児島大病院薬)、城野 博史(熊本大病院薬/熊本大院薬)</p> <p>3月25日(土) 15:30 ~ 17:30 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S18	<p>院内製剤の流れ—上流(医療ニーズ)~下流(臨床応用)—に大学はどう関われるのか?</p> <p>臨床製剤の新たな発信は大学から!</p> <p>花輪 剛久(東京理大薬)、百 賢二(帝京平成大薬)、河野 弥生(東京理大薬)、米持 悦生(星薬大)、山内 仁史(ニプロパッチ)</p> <p>3月25日(土) 15:30 ~ 17:30 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S19	<p>プラズマ・メカノバイオロジーの医用応用に向けた科学的基盤の構築—疾患治療からドラッグデリバリーまで</p> <p>プラズマ・メカノ医療へ</p> <p>立川 正憲(東北大院薬)、金子 俊郎(東北大院工)</p> <p>3月25日(土) 15:30 ~ 17:30 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>

S20	<p>有機合成化学の若い力：有機合成化学の深化と新展開</p> <p>有機合成化学はどこまで深化するのか</p> <p>植田 浩史(東北大院薬)、笹野 裕介(東北大院薬)、杉本 健士(富山大院医薬)</p> <p>3月25日(土) 15:30～17:30 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S21	<p>核酸修飾と疾患制御</p> <p>エピゲノム研究最前線：化学から医療まで</p> <p>今西 未来(京大化研)、梅原 崇史(理研)</p> <p>3月25日(土) 15:30～17:30 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S22	<p>臨床化学の進歩が変える薬物治療</p> <p>未来の治療を検査が変える</p> <p>眞野 成康(東北大病院薬)、城野 博史(熊本大病院薬)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S24	<p>参加者を主役にする年会設計・運営とは ～アクティブラーニングのススメ～</p> <p>シンポジウムへの質問は気軽にmyスマホから</p> <p>川村 和美(シッフヘルスケアファーマシー東日本)、大澤 匡弘(名市大院薬)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S25	<p>最先端技術による膜タンパク質構造解析と近未来の創薬・薬理学</p> <p>標的分子の形が創薬に閃きをもたらす</p> <p>山口 知宏(京大院薬)、廣明 秀一(名大院創薬)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S26	<p>大学院4年制博士課程の現状と将来展望-平成28年度文部科学省委託事業</p> <p>地味に凄い！ 日本の薬学教育</p> <p>小澤 光一郎(広島大院医歯薬保)、賀川 義之(静岡県大薬)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S27	<p>薬剤師が取り組む心不全の在宅医療ー地域で支える心不全包括ケアの推進ー</p> <p>在宅心不全患者ケアへの期待と薬剤師教育</p> <p>関根 祐子(千葉大院薬)、三浦 剛(城西国際大薬)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
OS28	<p>日本薬学会における男女共同参画推進に向けた取組み</p> <p>日本薬学会初ー遅ればせながら男女共同参画</p> <p>奥 直人(次期会頭/静岡県大薬)、平井 みどり(神戸大病院薬)、伊藤 美千穂(京大院薬)</p> <p>3月26日(日) 13:15～15:15 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S29	<p>リスク・ベネフィットコミュニケーションの新たな展開ー安全性情報が十分に伝達され理解されるためにー</p> <p>リスコミを科学し、医療者・患者の意識改革へ</p> <p>山本 美智子(昭和薬大)、中山 健夫(京大院医)</p> <p>3月26日(日) 13:15～15:15 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S30	<p>てんかん原性を考えたてんかん治療と抗てんかん薬ー基礎(薬学)と臨床(医学)の融合ー</p> <p>究極の目的はてんかんにならないようにする</p> <p>伊藤 康一(徳島文理大香川薬)</p> <p>3月26日(日) 13:15～15:15 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>

S31	<p>網膜における生理・病態解明と治療開発への新展開</p> <p>視覚研究の最前線ー細胞から回路までー</p> <p>小坂田 文隆(名大院創薬細胞薬効解析/名大高等研神経情報処理/科学技術振興機構さきかけ)、小池 千恵子(立命館大薬/立命館大総合科学研究機構システム視覚科学研セ/立命館グローバル・イノベーション研究機構)</p> <p>3月26日(日) 13:15 ~ 15:15 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S32	<p>がんターゲティング療法の最前線</p> <p>多彩な手法で薬物送達 ~宛先はがん細胞~</p> <p>宇都口 直樹(昭和薬大)、平 裕一郎(帝京平成大薬)</p> <p>3月26日(日) 13:15 ~ 15:15 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
OS33	<p>FIPフォーラム2017:次世代の薬学研究者育成のための薬学教育の国際潮流</p> <p>世界を牽引する薬学研究者の育成を提案!</p> <p>加藤 大(東大院薬)</p> <p>3月26日(日) 15:00 ~ 17:30 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S34	<p>乾燥と紫外線から皮膚を守るー化粧品からのアプローチー</p> <p>スキンケアで健康サポート! 化粧品の効用</p> <p>五十嵐 良明(国立衛研)、藤井 まき子(日本大薬)</p> <p>3月26日(日) 15:30 ~ 17:30 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S35	<p>ヘルスケアの最前線ー新しい情報技術を現場に生かすー</p> <p>オープンサイエンスの潮流を創薬に取込む</p> <p>宮内 洋一(薬函協/アステラス製薬)、小河 邦雄(薬函協/大正製薬)</p> <p>3月26日(日) 15:30 ~ 17:30 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S36	<p>在宅医療への薬剤師の参画推進に向けて</p> <p>まもるぞ、地域医療・介護! まずは在宅</p> <p>生田 泉太郎(おいで薬局)、堀 美智子(日本女性薬局経営者の会)、藤垣 哲彦(大阪府薬剤師会)、奥山 清(東京医大八王子医療セ薬)、伊東 明彦(明治薬大)</p> <p>3月26日(日) 15:30 ~ 17:30 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S37	<p>創薬を目指した免疫研究の新展開</p> <p>免疫疾患に対する日本発の創薬を目指して</p> <p>吉岡 靖雄(阪大微研)、國澤 純(医薬健康栄研)</p> <p>3月26日(日) 15:30 ~ 17:30 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S38	<p>「抗ウイルス感染症研究のフロンティア」~ウイルスと宿主の攻防~</p> <p>意外に知らないウイルス独自の感染戦略</p> <p>三隅 将吾(熊本大院薬)、久下 周佐(東北医薬大薬)</p> <p>3月26日(日) 15:30 ~ 17:30 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S39	<p>次世代創薬ターゲット“バイオ医薬”の動態を制御するキー分子「細胞膜透過ペプチド」のDDS研究最前線</p> <p>痛くて高い注射剤のない世界へようこそ</p> <p>武田 真莉子(神戸学院大薬)、佐久間 信至(摂南大薬)</p> <p>3月27日(月) 9:00 ~ 11:00 B会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「橘」</p>
S40	<p>触媒がつなぐ物質科学と生命科学</p> <p>薬学が先導する異次元ライフサイエンス</p> <p>金井 求(東大院薬)、生長 幸之助(東大院薬)</p> <p>3月27日(月) 9:00 ~ 11:00 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>

S41	<p>食事、運動、睡眠～生活習慣から薬物治療と創薬を考える～</p> <p>生活習慣と疾患からみた薬学研究の最前線</p> <p>西田 基宏(岡崎生理研統合バイオ)、宮本 理人(徳島大院医歯薬)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:30 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S43	<p>臓器間ネットワークからみる恒常性維持機構の破綻—神経系、代謝内分泌系、免疫系からみた生体情報のクロストーク制御と病態発症—</p> <p>病気の発症は恒常性の破たんから？</p> <p>東 泰孝(大阪府大院獣医)、檜井 栄一(金沢大院医薬保)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:00 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S44	<p>Na⁺/グルコース共輸送体SGLTを介した種々の生理作用と創薬の可能性</p> <p>糖の運び屋SGLT。糖尿病以外にも関係？</p> <p>徳山 尚吾(神戸学院大薬)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:00 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>
S45	<p>化学物質毒性研究の新展開</p> <p>身のまわりの化学物質の安全性を知りたい！</p> <p>中西 剛(岐阜薬大)、古武 弥一郎(広島大院医歯薬保)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:00 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S46	<p>医薬品による環境汚染問題—実態・生態影響・浄化技術—</p> <p>水環境における医薬品の挙動に迫る</p> <p>緒方 文彦(近畿大薬)、東 剛志(大阪薬大)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:00 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S47	<p>物理系薬学会シンポジウム</p> <p>物理系薬学の未来。若手研究者が熱く語る！</p> <p>大江 知行(東北大院薬)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 B会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「橘」</p>
S48	<p>中分子創薬研究のフロンティア—反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製—</p> <p>未来創薬～中分子から夢を語ろう！</p> <p>永次 史(東北大多元研)、林 良雄(東京薬大薬)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S49	<p>バイオメタルと生体反応の連関解明に基づいたメタロミクス研究 —代表的疾患と生体金属との関わりから探る新しい薬物療法を目指して—</p> <p>金属元素は時を超えて命の素であり続ける。</p> <p>安井 裕之(京都薬大)、武田 厚司(静岡県大薬)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S50	<p>現場で活かす薬物相互作用の知識</p> <p>安全で有効な薬物治療のための医薬品相互作用の理解</p> <p>益見 厚子(青森大薬)、小澤 正吾(岩手医大薬)</p> <p>3月27日(月) 9:00～11:00 Y会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」3F 「C302」</p>
S52	<p>カイコ創薬プラットフォーム構築から新蚕業革命へ</p> <p>蚕の生物機能利用から創薬イノベーションへ</p> <p>関水 和久(帝京大医真菌研セ)、伊藤 孝司(徳島大薬院)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>

S53	<p>第12回若手が拓く新しい薬剤学～ナノサイエンス・ナノテクノロジーが切り拓く次世代創薬への新展開～</p> <p>ナノ医薬品を創る。若者が生み出す新技術！</p> <p>岩尾 康範(静岡県大薬)、渡邊 博志(熊本大院薬)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 N会場 東北大学川内北キャンパス「マルチメディア教育研究棟」2F マルチメディアホール</p>
S54	<p>マスマスベクトロメトリーを駆使した生体分子解析によるバイオメディカル研究の新展開</p> <p>からだの成分をすみずみまで逃さずみる！</p> <p>前川 正充(東北大病院薬)、森 大(慶應大先端研/慶應大政策メディア院)</p> <p>3月27日(月) 13:15～15:15 O会場 東北大学川内北キャンパス「C棟」2F C棟大講義室</p>
S55	<p>薬学における生命指向型化学(実用的ケミカルバイオテクノロジーの開発を目指して)</p> <p>新薬を見つける新たな技術！</p> <p>猪熊 翼(徳島大薬)、佐藤 伸一(東工大化生研)</p> <p>3月27日(月) 15:30～17:30 C会場 仙台国際センター「会議棟」2F 大会議室「萩」</p>
S56	<p>精密制御反応場が拓く有機合成化学の最前線</p> <p>独創的な分子触媒で拓く次世代のものづくり</p> <p>松永 茂樹(北大院薬)、徳山 英利(東北大院薬)、熊谷 直哉(微化研)</p> <p>3月27日(月) 15:30～17:30 D会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀1」</p>
S57	<p>新しい創薬標的としての鉄イオン</p> <p>鉄イオンのジキルとハイドロー創薬へ新展開！</p> <p>樋口 恒彦(名市大院薬)、小谷 明(金沢大院医薬保)</p> <p>3月27日(月) 15:30～17:30 J会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室1</p>
S58	<p>バイオ医薬品の開発を支える分析技術の最新動向</p> <p>バイオ医薬の魅力と課題を解決する先端分析</p> <p>石井 明子(国立衛研)、内山 進(阪大/自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセ)</p> <p>3月27日(月) 15:30～17:30 K会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室2</p>
S59	<p>生命現象の時空間的観察・操作のための光スイッチ分子の大拡張</p> <p>光で“み(見・視・観・覧・診)る”</p> <p>須藤 雄気(岡山大院医歯薬)、中川 秀彦(名市大院薬)</p> <p>3月27日(月) 15:30～17:30 L会場 仙台国際センター「展示棟」1F 会議室3</p>

■ 大学院生シンポジウム ■

GS01	<p>循環器研究の最前線と新展開～心血管疾患における治療法のブレイクスルーを求めて～</p> <p>循環器疾患に対する若手研究者の挑戦</p> <p>石田 裕文(静岡県大院薬)、森田 茜(北里大院薬)</p> <p>3月25日(土) 13:15～15:15 E会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀2」</p>
GS02	<p>薬学がん研究の発展と未来を先導する若手がん研究者の挑戦</p> <p>若手がん研究者の飛躍への第一歩！</p> <p>野々宮 悠真(慶應大院薬)、板垣 圭祐(東京理大院薬)</p> <p>3月25日(土) 15:30～17:30 E会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀2」</p>
GS03	<p>革新的創薬・育薬を目指す若手研究者によるトランスレーショナルリサーチの最前線</p> <p>革新的な薬を創る。新人類が将来を語る！</p> <p>相澤 風花(神戸学院大院薬)、池田 祐子(早稲田大院先進理工)</p> <p>3月26日(日) 9:00～11:00 E会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀2」</p>
GS04	<p>多分野連携で織り成すこれからの医療～アンメットメディカルニーズの充足を目指して～</p> <p>患者さんのために。皆の力で次世代医療！</p> <p>徳永 彩子(長崎大院医歯薬)、芳川 拓真(九大院工)</p> <p>3月26日(日) 13:15～15:15 E会場 仙台国際センター「会議棟」3F 中会議室「白檀2」</p>

■ 一般学術発表 キャッチフレーズ一覧

■ 有機化学 ■

	ー全合成、N-以外の複素環化合物ー
26V-pm11S	未解明植物発芽誘導物質の化学合成に成功 〔京大院薬〕 安井 基博 P26
	ー反応、ヘテロ原子化合物ー
25T-am09	基質を見分ける触媒で反応を制御しよう！ 〔京大化研〕 新宮 るり P26
	ー反応、脂肪族化合物ー
26T-am03S	分子をなぞって欲しいものに変える触媒 〔東大院薬〕 坂井 健太郎 P26
	ー構造と物性、芳香族化合物ー
27T-pm15	炭素のリングが魅せる新しい物性 〔東大院薬／理研〕 増本 優衣 P27

■ 生薬学・天然物化学 ■

	ー遺伝子・生合成ー
25Q-am09	天然物の設計図を書き換える！ 〔東大院薬〕 藤岡 拓真 P27
	ーテルペン類ー
26Q-am01S	海洋生物由来の新規骨格を有するセスキテルペンの構造 〔熊本大院薬〕 鳥井 万純 P27

■ 医薬化学 ■

	ーケミカルバイオロジーー
26R-am01S	光と超音波を使って活性酸素を視る！ 〔東大院薬〕 池野 喬之 P28
26R-am06S	人工タンパク質で標的RNAを狙い撃ち！ 〔京大化研〕 篠田 昂樹 P28

■ 物理化学・生物物理 ■

ー機能性高分子ー

26P-am11

“Plastic Antibody” で病気を診つける

〔安田女大薬／神戸大院工〕砂山 博文 P28

ー物理的計測 (バイオイメージング等)ー

26P-am04S

標的に集積する抗体をリアルタイムで観る

〔名市大院薬／分子研〕與語 理那 P29

■ 分析化学 ■

ーLC-MSー

27PB-am026S

「キラル」と病気の関係を明かす

〔静岡県大薬／日本学術振興会〕高山 卓大 P29

ーその他ー

25P-pm09s

低分子ペプチドが認知症の治療薬になる？

〔摂南大薬〕幡川 祐資 P29

■ 放射化学 ■

ー放射性医薬品ー

27P-am07S

狙い撃ち！熱で放射性物質をがんへ集積

〔京大院薬〕金田 侑子 P30

■ 生物化学 ■

ー糖質ー

25V-am04

指定難病筋ジス発症に関わる糖鎖の発見

〔都健康長寿研〕萬谷 博 P30

ー酵素一般ー

26W-am04

オートファジー阻害剤に困っていませんか？

〔岐阜薬大〕遠藤 智史 P30

■ 薬理学 ■

ー中枢神経系 (機能)ー

25Y-am01S

精神的ストレスで脳活動はフリーズする

〔東大院薬〕中山 亮太 P31

	－炎症・免疫系－	
25X-am11	花粉症が治る！免疫療法の機序に迫る	〔摂南大薬〕 奈邊 健 P31
	－呼吸器系－	
25X-am01S	蜂が作り出す咳止め薬	〔東京理大薬〕 窪田 佑紀 P31
■ 微生物学 ■		
	－抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬－	
27X-am02	今始まる第四次革新技術による人工抗体設計 〔立教大理／立教大未来分子研究セ〕 常盤 広明 P32	

■ 衛生化学・公衆衛生学 ■		
	－食品一般成分－	
26PB-pm123	身近な食品“納豆”でインフルエンザ予防！	〔中部大〕 林 京子 P32
	－有害無機化合物－	
27PA-pm037	毛髪ミネラルでわかる？！あなたの花粉症 〔近畿大薬／近畿大アンチエイジングセ〕 川崎 直人 P32	
■ 環境科学 ■		
	－有害化学物質・重金属－	
27F-pm06S	ツバメの糞で土壌汚染を診る	〔名城大農〕 今枝 千尋 P33

■ 社会と薬学 ■		
	－社会薬学－	
26PB-am140	知ることは生きる力！緊急避妊薬の適正使用 〔横浜薬大／女性と医療ネットワーク／神奈川県女性薬剤師会／昭和大医〕 大塚 邦子 P33	
26PB-am144	市販薬購入と病院受診、費用が少ないのは？	〔明治薬大〕 永崎 勝也 P33
■ 薬剤学 ■		
	－トランスポーター（SLC）－	
26I-am09S	プラセンタにたまる抗酸化物質ヒポタウリン	〔慶應大薬〕 斉藤 慶 P34

	－トランスポーター（その他）－	
27PB-am198	果物由来ナノ粒子が引き起こす小腸機能変動	〔金沢大院医薬保〕 荒井 俊樹 P34
■ 製剤学 ■		
	－製剤の設計・製造（固形）－	
27PB-pm140	3Dプリンター技術による患者個別化製剤	〔武蔵野大薬〕 久保田 紫帆 P34
	－新規剤形－	
25H-am03	酵素とナノテクの融合：デトックスの新展開	〔九大院工／九大CMS〕 岸村 顕広 P35
■ 医療薬学 ■		
	－新薬・剤形の開発－	
26H-am01	適剤適処の安心・安全なクスリ創り（16）	〔静岡県大薬〕 世戸 孝樹 P35
	－医薬品情報－	
25PB-pm164S	副作用ビッグデータから新たな薬効を発見！	〔京大院薬〕 長島 卓也 P35
	－薬物治療（基礎）－	
26PB-pm214	妊婦への早産治療が新生児低血糖を起こす！？	〔明治薬大〕 齋藤 友佳莉 P36
■ 医療薬科学 ■		
	－がん－	
27H-am05S	本物のがんの模倣から新たな治療法開発へ	〔京大院薬〕 田中 悠太郎 P36
	－その他－	
27H-pm16S	iPS細胞由来肝細胞を用いて肝炎を治す	〔阪大院薬〕 秋田 尚毅 P36

■ 薬学教育 ■

－学部導入教育－

26PB-pm282

ヒトのカラダを知る！ 薬剤師教育の第一歩

〔近畿大薬〕 和田 哲幸 P37

－その他－

27PA-am108

小学生の「薬の飲み方教育」サイエンス編

〔星薬大〕 堀内 正子 P37